

浮間舟渡駅駅前広場バリアフリー化検討会（第3回）議事概要（要約版）

日 時：平成31年2月28日（木曜日）午後2時30分から午後5時30分

場 所：舟渡ホール レクリエーションホール

出席者：委員32名（うち代理8名）、随員6名、事務局5名、コンサルタント4名

委員			出欠	
1	学識	(会長) 日本大学理工学部交通システム工学科助教	出席	
2	経験者	(副会長) 日本工業大学建築学部建築学科教授	出席	
3		(副会長) 中央大学研究開発機構助教	出席	
4	高齢者、 障害者団体等	北区障害者団体連合会副会長	出席	
5		北区肢体不自由児者父母の会顧問	出席	
6		自立生活センター・北代表	出席	
7		公益社団法人認知症の人と家族の会会員	出席	
8		北区視覚障害者福祉協会会長	出席	
9		北区聴覚障害者協会幹事	出席	
10		NPO 法人北区精神障害者を守る家族会飛鳥会事務局長	欠席	
11		NPO 法人尚道手をつなぐ会 たいよう事業所管理者	出席	
12		区民（北区）	出席	
13		区民（北区）	出席	
14		北区シニアクラブ連合会副会長	出席	
15		北区民生委員児童委員協議会赤羽中央地区会長	出席	
16		北区浮間西町会長	出席	
17		北区浮間本町商店会長	代理	
18		板橋区舟渡町会副会長	出席	
19		東京都立王子特別支援学校主幹教諭	出席	
20		公共交通事業者	東日本旅客鉄道株式会社東京支社総務部企画室企画調整課長	代理 随員1名
21			国際興業株式会社運輸事業部業務課サブリーダー	出席 随員1名
22			一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会業務部長	出席
23	公益財団法人東京タクシーセンター指導部施設管理課課長代理		出席	
24	関係行政機関	警視庁赤羽警察署交通課長	代理 随員1名	
25		北区まちづくり部都市計画課長	代理	
26		北区土木部参事	代理	
27		北区土木部施設管理課長	出席	
28		板橋区福祉部障がい者福祉課長	代理	
29		東京都都市整備局都市基盤部交通企画課長	代理 随員1名	
30		東京都福祉保健局生活福祉部福祉のまちづくり担当課長	出席	
31		東京都第六建設事務所管理課長	出席	
32		東京都第六建設事務所補修課長	代理 随員2名	
33		東京都東部公園緑地事務所管理課長	出席	
事務局		東京都建設局道路管理部安全施設課長	出席	

質疑応答での主な質問・意見及び方針：

項目	質問・意見	今後の方針
<p>第2回検討会の振り返り (資料1 第2回検討会 議事概要 (要約版))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「その他(バス)」について、駅前広場の形状に関する意見に対し、「U字型にすると横断歩道の延長が長くなる」という回答になっているが、交通島が大きくなるだけで歩行者の横断距離は変わらないため、安全性は確保できるという趣旨の発言であり、記録を修正願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回検討会では記載のとおり回答したが、今回のご指摘を受け「横断歩道の延長が長くなり横断時間が長くなることや」の部分削除する。
<p>バリアフリー化整備方針案の説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・質疑無し 	<p>—</p>
<p>バリアフリー化整備方針案の確認</p>	<p>特定事業① (車止めの位置等の改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車止めは、バリアフリーの観点からは撤去が望ましいと考えている。 ・設置する場合は、視覚障害者誘導用ブロックから離れた設置を提案する。 ・車止めを設置するのであれば、勾配の途中は危険と考える。また歩行者の動線上にない方がよい。 ・車いす使用者の方を介助する上では車止めは無い方がよいが、間隔が広ければ問題ない。 ・歩行者の安全確保の観点から設置した方がよい。 ・駅の入口付近の歩道上への一般車の乗り入れを防止するため、設置した方がよい。 ・近くに駐輪場があり、自転車通行が多いが、車止めによるマナー向上効果も考えられる。 <p>特定事業② (横断歩道接続部等の段差や勾配解消)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断歩道の歩車道境界部の段差に関する整備方針について、どう考えるべきなのか。 ・道路の側溝の勾配と歩道の勾配の関係から、同じ段差でも車いす使用者の方は乗り越えにくくなるため、勾配と段差はセットで検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車止めを撤去する特段の理由が無いため、車止めを残すものとする。設置位置は、国土交通省の省令や施工技術的な観点及び警察の考えも踏まえ、横断歩道前の視覚障害者誘導用ブロックから30cmの離隔をとった設置とする。 ・全ての横断歩道において、歩車道境界部の段差を、都の福祉のまちづくり条例で定めた基準の2cmで整備する。 ・勾配と段差の関係を考慮した整備とする。

項目	質問・意見	今後の方針
	<ul style="list-style-type: none"> 歩道を下げて車道を上げるとなると、公園に向かう歩道側に新たに勾配が発生することもあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 都の福祉のまちづくり条例で定めた基準の範囲内で歩道に勾配を設けるが、公園の入口と段差ができないよう検討する。
<p>特定事業③ (舗装のがたつきの解消)</p>	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスを考慮し、アスファルト舗装やコンクリート舗装による整備としたい。 カラーアスファルト舗装は塗装ではないため、色落ち・はがれがなく、下地（路盤）の調整が不要なため、早く整備ができ、修繕も容易である。インターロッキング舗装の場合、路盤を掘り直す下地調整が必要であり、費用も高額になる。 アスファルトとコンクリートを融合したような舗装は、メンテナンスフリーで耐久性の強い舗装であるが、アスファルトの約1.5倍の金額となる。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> カラーアスファルト舗装は、透水性があるのか、また滑らないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 通常のアスファルト舗装と同様であるため、問題ない。
	<ul style="list-style-type: none"> まちの活性化として、アスファルト舗装上にサクラソウを描いてもらいたい。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ブロック舗装は街路樹の根上がりで段差が生じるが、アスファルト舗装だと段差にはならず傾斜となるので、躓く可能性が少ない。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害者の方にも刺激になりにくいカラーアスファルト舗装が望ましい。色の選択においては、光の反射や周りから浮き上がり過ぎない色などで検討してもらいたい。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> カラーアスファルト舗装には色のバリエーションがあるのか。また、駅前広場の要所が認識しやすいよう、複数の色の舗装を使って動線を誘導するような工夫をしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> カタログでは赤・緑・青・茶・白という選択肢はある。白みがかかった暖かい色は難しいと言われている。

項目	質問・意見	今後の方針
<p>特定事業④ (タクシー乗降所の段差解消)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすに乗った状態でのUDタクシーの乗降に、それぞれ15分程度かかるため、車いす使用者の方のUDタクシーの利用を踏まえたタクシー乗降場の整備が必要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすに乗った状態での乗降に時間がかかるため、複数の乗降場が必要という課題を踏まえ、タクシー乗降場の形状等について調整・検討する。 ・段差の解消だけでなく運用面や構造面での課題があり、具体的な整備方針を引き続き検討する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・他の駅前での整備で、一般車乗降場の機能として思いやり乗降場が整備された。また、歩行者動線に屋根があり、横からも後方からも車いす使用者の方が利用可能な乗降場が整備されている。様々な課題を解決したと思われる。都がリーダーシップをとって課題を解決してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都(事務局)がそれぞれの事業者の間に入って課題の解決を図っていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停留所とタクシー乗降場を逆にする意見を出したがどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の配置を基本に進めることとしたい。
<p>特定事業⑤ (視覚障害者誘導用ブロックの改修)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者誘導用ブロックの配置状況を示す触知案内図を、わかりやすい位置に設置してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置が可能かどうか、検討する。 ・「使えるもの」でなければいけない。設置する場合、どういうものが良いのか検討が必要。
	<ul style="list-style-type: none"> ・特に駅からタクシー乗り場への視覚障害者誘導用ブロックの設置は基本と考える。設置を検討してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都(事務局)がそれぞれの事業者の間に入って検討したい。
<p>特定事業⑥ (バリアフリー対応型信号機・エスコートゾーンの整備)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者の方が多く利用する道路では、よく利用する片側の道路に絞って音響式信号機を設置した方が良いのではないかという意見があるが、当事者の方の意見を伺いたい。 	<p>—</p>

項目	質問・意見	今後の方針
	<ul style="list-style-type: none"> ・音響式信号は片方でもやむを得ないと考えるが、不特定多数の利用が考えられる場所であり、両方設置する方が良い。 ・浮間公園前の道路と平行方向に設置されている横断歩道では、信号無視をする周りの人と合わせて視覚障害者の方が間違っ て渡ってしまうので、信号の残り時間を表示する経過時間表示付信号機などで乱横断などを抑止すると良い。 ・シグナルエイド対応の信号機の採用を検討してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見について対応策を検討する。シグナルエイド対応は実施できるか確約できないが検討したい。
<p>その他 (バス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バス降車場 2 バース、乗車場の歩道改良による旋回の容易性の確保について、バス会社と事務局で調整している。 ・バス降車場とタクシー乗り場の位置変更について意見があったので乗務員へヒアリングしたところ、多くの協議が必要なことや、バス利用者の乱横断が増える懸念があるという意見があった。他の駅前では、乱横断が問題になっている。 ・バスが現在のタクシー乗り場の位置に止まることで、ロータリー内で一般車の通行幅が確保できなくなる懸念もあるので、位置変更は望ましくないと考える。 ・事務局から歩道の植栽帯を一部切欠くことで正着性を確保するバス乗降場の改善案の提示を受けたが、「三角形切り込み型」の整備を要望する。 ・事務局提案のバス乗り場の 2 箇所についてだが、公園側の乗り場と駅側の乗り場の離隔が短い ため、乗り場の位置をずらして 5m 程度の離隔を確保することを検討してもらいたい。 ・「三角形切り込み型」は車間距離が近くても正着できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前ロータリーの改善には警視庁協議が必要であり、今後、具体的に検討していく。 ・運用上の問題もあり、正着が可能な整備をしてもしっかりと正着させていないこともあり、運転手への啓発も必要である。

項目	質問・意見	今後の方針
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般車がバスの動線上に駐停車しないよう、パーキングチケット部分の活用も検討してもらいたい。物流の荷捌きスペースとして、手数料なしで運用する方法も検討してもらいたい。 ・高齢化が進み、足の不自由な方も増える中で、安心して利用できるバスやタクシー乗降場の整備を是非お願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車対策第二係が担当であり、志村警察署への協議は可能と思われる。
<p>その他の意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各意見に対して丁寧な対応が必要である。 ・全体の道路計画に関する議論がなかった。 ・バス乗降場を「三角形切り込み型」にするメリットもあると思うので、一緒に計画を示せると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応表を作るなど、各意見に対する今後の方針の報告・共有を検討する。

浮間舟渡駅駅前広場バリアフリー化検討会（第3回）

説明・意見交換の状況



第3回検討会を踏まえた今後の方向性（会長まとめ）

項目	方向性
特定事業① （車止め）	<ul style="list-style-type: none"> ・車止めは積極的に撤去する理由がない。駅側への設置を基本として、視覚障害者誘導用ブロックからの距離や車いす使用者に留意した離隔の確保を検討する。
特定事業② （段差・勾配）	<ul style="list-style-type: none"> ・車道盤上げ及び歩道盤下げの折衷案で、都の福祉のまちづくり条例で定めた基準の範囲内で勾配を改善する。 ・全ての横断歩道において、歩車道境界部の段差を 2cm にする。
特定事業③ （舗装改善）	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーアスファルト舗装を基本に、浮間公園等の周辺の舗装色と統一感を確保しつつ、発達障害者やロービジョン者等の観点に留意した色の採用を検討する。
特定事業④ （タクシー）	<ul style="list-style-type: none"> ・実施主体など保留となっている課題が多いが、UD タクシーや一般車の乗降に対応したスペースの必要性は示されており、ハード面とソフト面（運用）のそれぞれの意見をさらに募って議論していく必要がある。
特定事業⑤ （誘導用ブロック）	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者誘導用ブロックの設置方法・位置については、方針案通りとする。 ・特定事業④の検討に合わせ、タクシー乗降場への設置を検討する。 ・触知案内図については、設置が可能かどうか検討する。
特定事業⑥ （交通安全）	<ul style="list-style-type: none"> ・音響式信号機は全方向の横断歩道に設置を検討する。 ・シグナルエイドに対応した信号機の設置を検討する。 ・浮間公園前の道路と平行方向の横断歩道に、信号の残り時間を表示する経過時間表示付信号機の設置を検討する。
その他 （バス）	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の一部を削る案と三角形切り込み型案の 2 案を原案に、車いす使用者の利便性にも留意し、検討する。 ・パーキングチケットが運用されている区画の、荷捌きスペースとしての活用も検討していく。 ・新型のバス車両のドア位置を考慮し、柵を配置する。
その他 （進め方）	<ul style="list-style-type: none"> ・各意見に対する回答を丁寧に報告し、共有する。